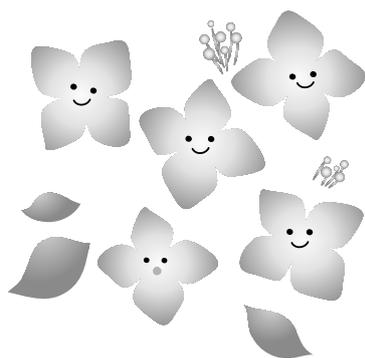


かつらぎ町勢要覧

資料編

かつらぎ町 2013





目次

● 自然	1
	概況、気象、月別気象状況、地目別面積の状況	
● 人口	2～3
	国勢調査による人口、男女別年齢構成人口、人口の動態、大字別世帯数および人口	
● 行政	4
	町の沿革、歴代町長、歴代副町長、歴代助役、歴代収入役、行政構成図	
● 財政	5
	一般会計歳入歳出決算額の推移、特別会計決算額、企業会計決算額	
● 議会・選挙	6～7
	町議会議員、歴代議長、歴代副議長、有権者数の状況、選挙の投票状況	
● 保健・衛生	7
	医療機関の状況、各種健康保険の状況、各種予防接種及び検診の状況	
● 生活環境	8
	斎場の火葬状況、斎場の利用状況、し尿処理の推移、ごみ処理の推移	
● 社会福祉	9
	社会福祉の状況、国民年金被保険者の状況、保育所の入所状況、国民年金・拠出金の給付状況	
● 運輸	9
	自動車台数	
● 生活の安全	10
	交通事故発生の状況、救急業務の状況、消防施設等の状況、火災発生及び被害の状況	
● 建設	10
	道路の状況、橋梁の状況	
● 水道	11
	水道給水の状況	
● 産業	11～12
	農家数の推移、経営耕地規模別農家数、経営土地種別面積、年間販売額の推移、商業の状況、工業の状況、産業大分類別就業人口	
● 教育	13～14
	中学校の状況、小学校の状況、幼稚園の状況、指定文化財一覧	
● 年表	15～20
	年表、年表(旧花園村)	
● 町内の主な官公署等の一覧	21



自然

概況

和歌山県の北東部、伊都郡の北部に位置し、北に和泉山脈、南に紀伊山地を仰ぎ、町の中心部を紀の川が東西に流れています。

道路交通状況は、一部供用開始となった京奈和自動車道、奈良県に通じる国道24号、大阪府に通じる国道480号、県内を結ぶ国道370号が町内を縦横に通っており、またJR和歌山線が紀の川と平行して走っています。

町域は、東経135度26分から135度36分、北緯34度5分から34度21分で、面積は151.73km²、東西14.7km、南北29.3kmとなっています。隣接する市町村は、東に橋本市、九度山町、高野町、奈良県野迫川村、北に大阪府河内長野市、和泉市、岸和田市、西に紀の川市、南に海草郡紀美野町、有田郡有田川町があり、町の境界は一部府県界、郡界にもなっています。

気象

瀬戸内気候区に属し、気象資料については、かつらぎ地域気象観測所の平年値（1981－2010）でみると、降水量は年間平均1358ミリで、冬は少なく夏は多い。12月が49.6ミリと最も少なく、最も多いのが梅雨期の6月の196.8ミリで、次いで台風期の9月の167.7ミリとなっています。また、年平均気温は14.6℃で、月平均では8月が高く26.3℃、1月が低く3.7℃となっています。

年間を通じ比較的温暖、乾燥した気候ですが、時にはおそ霜の被害が発生します。

●資料(和歌山地方気象台)

月別気象状況

※観測期間 平成24年1月～12月

月	気 温 (°C)			日照時間 (h)	降水量 (mm)
	平均	最高	最低		
1月	3.2	12.0	-3.3	115.6	54.0
2月	2.9	13.1	-5.6	104.2	143.0
3月	7.3	20.4	-2.9	137.4	173.0
4月	13.2	29.8	-1.8	180.0	85.5
5月	17.2	29.1	4.2	166.7	36.5
6月	20.7	30.3	13.6	90.9	309.5
7月	25.6	36.0	16.6	204.0	199.0
8月	26.5	35.7	18.0	219.2	92.5
9月	23.0	33.1	13.9	162.5	183.0
10月	16.2	27.2	6.2	177.1	194.5
11月	9.6	19.2	-0.6	114.5	113.0
12月	4.6	16.4	-4.1	108.1	83.5

●資料(和歌山地方気象台)



地目別面積の状況 (平成23年1月1日現在)

(単位: km²)

総面積	地 目 別 面 積						
	田	畑	宅 地	山 林	原 野	雑種地	その他
151.73km ²	3.34	17.48	3.65	60.74	0.21	1.31	65.00
総面積比 (%)	2.2	11.5	2.4	40.0	0.1	0.9	42.9

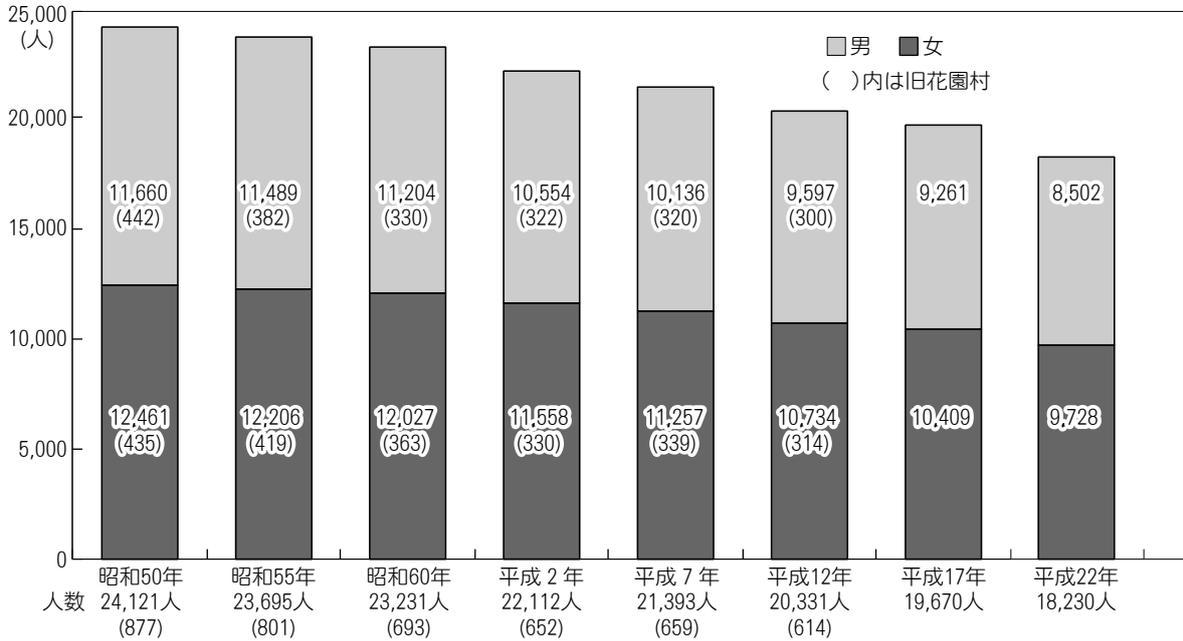
●資料(統計年鑑)



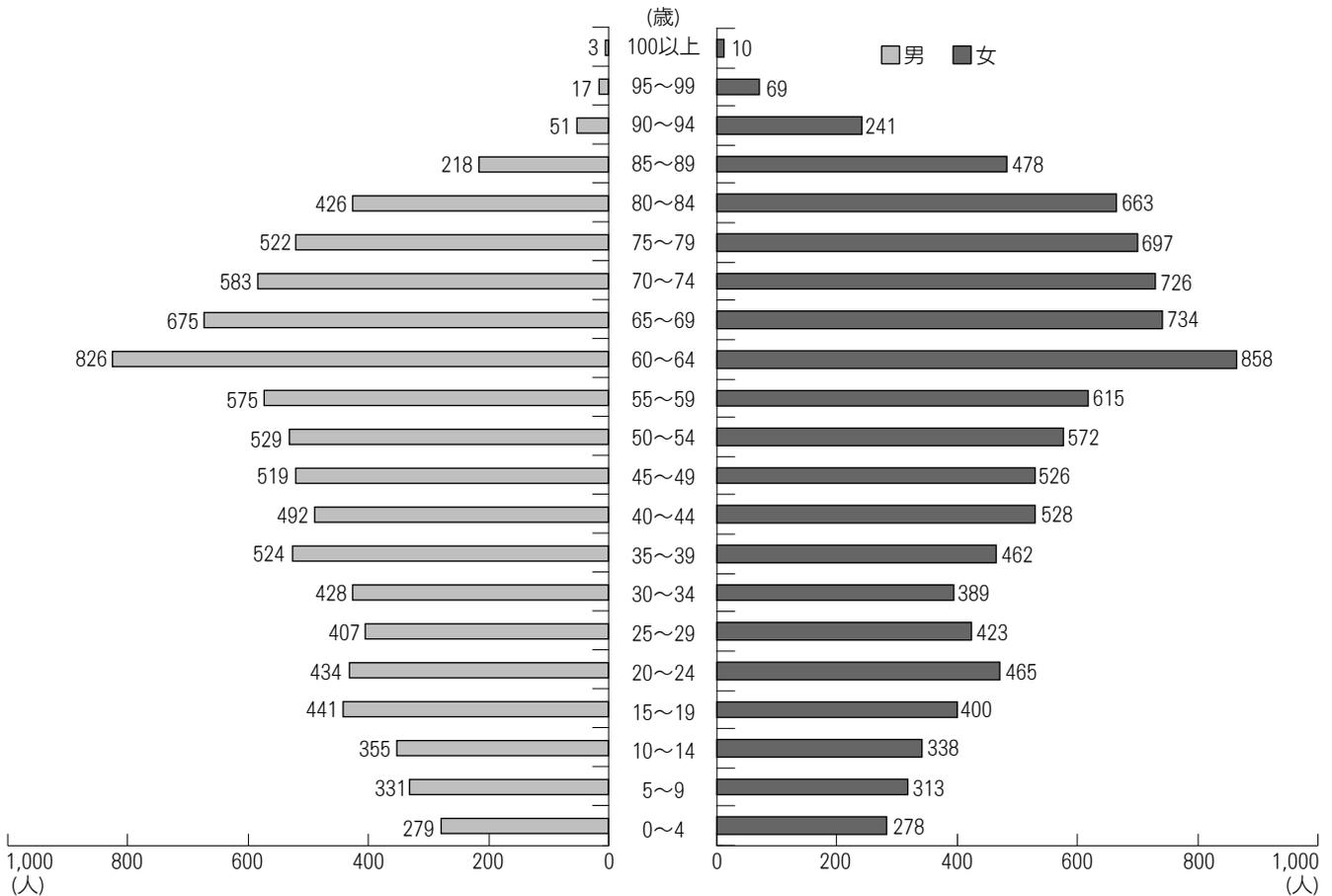
人口

● 国勢調査による人口

この表は各年10月1日現在で行われた“国勢調査”の結果です。



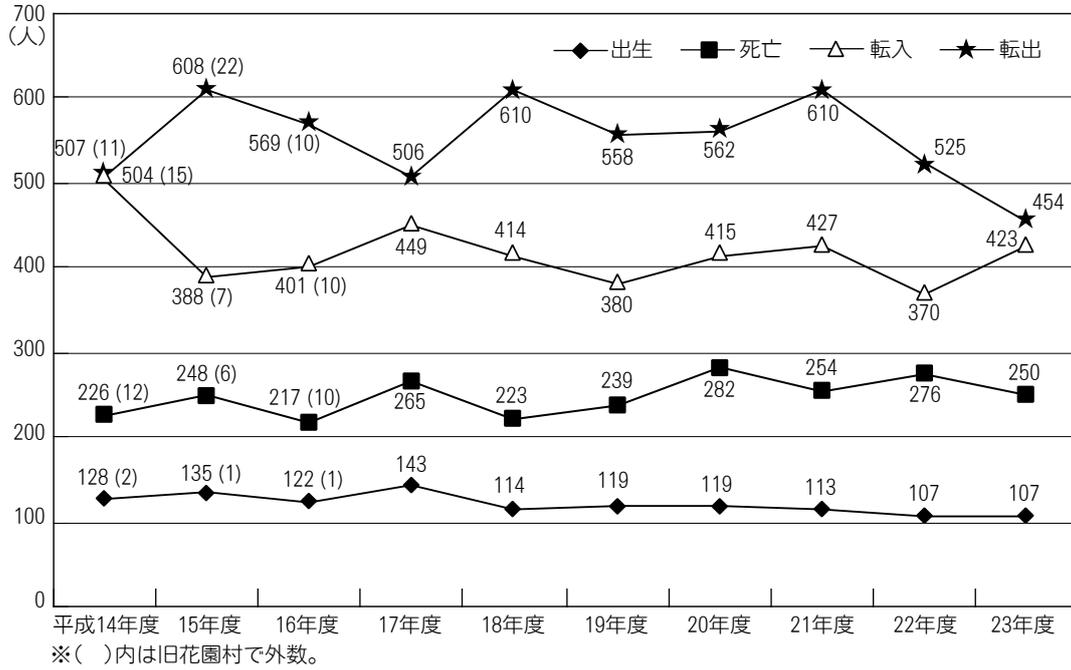
● 男女別年齢構成人口 (平成25年2月末現在)





人口

● 人口の動態 (毎年3月末日現在)



● 大字別世帯数及び人口 (平成25年2月末日現在)

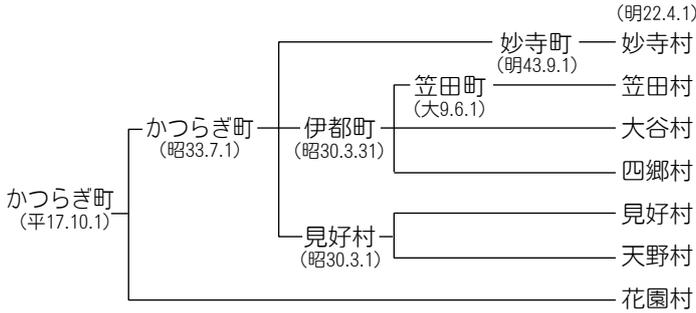
(単位: 人)

大字	区分	世帯数	人口			大字	区分	世帯数	人口		
			男	女	計				男	女	計
高	田	178	142	197	339	星	川	42	51	57	108
	移	27	38	33	71	東	洪	348	445	497	942
背	ノ	37	52	43	95	宮	本	19	22	18	40
	窪	37	49	68	117	平	沼	28	44	51	95
萩	原	76	103	121	224	寺	尾	66	78	89	167
笠	田	244	326	346	672	兄	井	67	89	102	191
笠	田	939	1,047	1,255	2,302	三	谷	206	256	292	548
佐	野	540	595	693	1,288	教	良	58	68	75	143
広	浦	21	23	27	50	山	崎	49	80	72	152
大	谷	303	385	407	792	志	賀	103	109	116	225
蛭	子	52	62	74	136	上	天	25	38	35	73
大	藪	146	218	220	438	下	天	79	96	108	204
柏	木	143	162	194	356	神	田	5	7	8	15
丁	ノ	840	932	1,095	2,027	新	城	61	59	67	126
新	田	112	125	142	267	広	口	80	93	112	205
妙	寺	968	1,158	1,306	2,464		滝	55	89	93	182
中	飯	417	513	575	1,088		平	52	83	80	163
西	飯	113	152	179	331	東	園	46	57	54	111
短	野	69	124	131	255	花	園	12	8	8	16
大	畑	16	18	20	38	花	園	19	15	20	35
西	洪	254	315	346	661	花	園	9	7	8	15
	島	33	36	42	78	花	園	3	1	3	4
日	高	22	18	19	37	花	園	18	20	28	48
星	山	17	22	27	49	花	園	148	128	153	281
御	所	46	77	79	156		合	7,248	8,635	9,785	18,420
							計				



行政

● 町の沿革

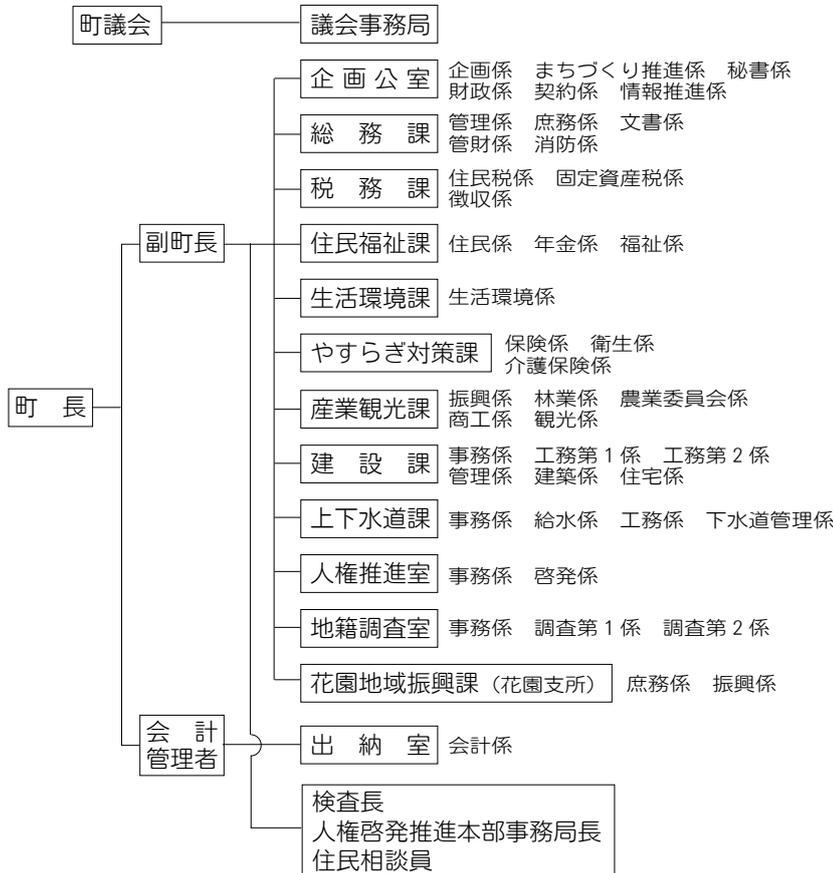


● 歴代助役

氏名	就任年月日	退任年月日
池田 一郎	昭33.12.26	～ 昭38. 3. 2
木村 重雄	昭38. 3. 3	～ 昭49. 9.10
坂田 徳一	昭49. 9.11	～ 昭58. 6.20
森岡 彦太	昭59. 3.29	～ 昭62. 4.30
華岡 梓	昭62.10.23	～ 平 7. 4. 9
山本 恵章	平 7.11. 7	～ 平15. 8.15
廣畑 晴夫	平15.10.17	～ 平17.10.31

※昭和33年 7月 1日～12月25日不在
 昭和58年 6月21日～昭和59年 3月28日不在
 昭和62年 5月 1日～10月22日不在
 平成 7年 4月10日～11月 6日不在
 平成15年 8月16日～10月16日不在
 平成17年11月 1日～不在

● 行政機構図 (平成24年 4月 1日現在)



● 歴代町長

氏名	就任年月日	退任年月日
戸西 倍一	昭33. 7.27	～ 昭34.11. 4
澤井 政造	昭34.12. 6	～ 昭42.10. 2
中谷 政夫	昭42.10.14	～ 昭50.10.13
木村 重雄	昭50.10.14	～ 昭58.10.13
溝端 康雄	昭58.10.14	～ 平 7.10.13
南 衛	平 7.10.14	～ 平15.10.13
山本 恵章	平15.10.14	～ 平23.10.13
井本 泰造	平23.10.14	～ 在任中

※昭和33年 7月 1日～7月26日は職務代理者
 昭和34年11月 5日～12月 5日は職務代理者
 昭和42年10月 3日～10月13日は職務代理者

● 歴代副町長

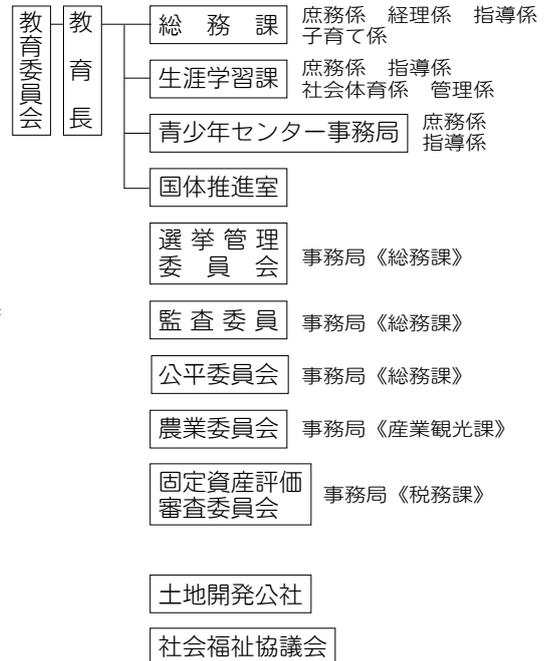
氏名	就任年月日	退任年月日
北浦 亮三	平19. 4. 1	～ 平23. 3.31
豊岡 博行	平23.12. 7	～ 在任中

※平成23年 4月 1日～12月 6日不在

● 歴代収入役

氏名	就任年月日	退任年月日
坂田 徳一	昭33. 8.30	～ 昭49. 8.29
原 延年	昭49. 9. 6	～ 昭61. 9.10
南 衛	昭61.11. 5	～ 平 7. 6.30
廣畑 晴夫	平 7.11. 7	～ 平15.10.13
北浦 亮三	平17.10. 1	～ 平19. 3.31

※昭和33年 7月 1日～8月29日は職務代理者
 昭和49年 8月30日～9月 5日は職務代理者
 昭和61年 9月11日～11月 4日は職務代理者
 平成 7年 7月 1日～11月 6日は職務代理者
 平成15年10月14日～平成17年 9月30日は職務代理者





財 政

● 一般会計歳入歳出決算額の推移

(単位:千円)

【歳入】	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
1. 町 税	2,172,533	2,277,699	2,274,437	2,150,581	2,096,902	5,143,523
2. 地 方 譲 与 税	288,615	154,464	148,097	138,497	134,098	117,639
3. 利 子 割 交 付 金	10,487	13,550	12,829	11,187	10,417	8,874
4. 配 当 割 交 付 金	10,427	11,587	5,137	3,994	4,784	5,144
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	9,060	8,572	1,671	1,641	1,366	1,060
6. 地 方 消 費 税 交 付 金	162,381	157,288	145,028	150,623	150,365	149,673
7. ゴルフ場利用税交付税	9,139	9,508	9,053	8,728	8,241	8,469
8. 自動車取得税交付金	67,024	69,878	68,898	43,917	34,931	27,689
9. 地方特例交付金	32,728	9,250	18,420	25,583	32,965	27,960
10. 地 方 交 付 税	3,403,498	3,415,646	3,569,394	3,616,522	3,955,210	3,789,434
11. 交通安全対策特別交付金	5,383	5,399	4,827	4,920	4,917	4,859
12. 分担金及び負担金	90,777	93,664	83,039	80,477	80,096	79,756
13. 使用料及び手数料	127,238	120,887	123,273	115,417	124,365	123,093
14. 国 庫 支 出 金	480,377	421,340	463,182	1,613,553	1,264,219	1,494,612
15. 県 支 出 金	826,906	581,760	566,515	613,568	656,845	653,976
16. 財 産 収 入	21,521	87,096	62,393	74,595	29,993	27,057
17. 寄 附 金	2,000	4,000	2,925	2,690	6,923	7,940
18. 繰 入 金	161,584	473,637	319,371	111,168	214,159	330,227
19. 繰 越 金	169,625	181,905	152,549	160,958	158,986	192,146
20. 諸 収 入	112,081	172,899	134,349	167,842	168,729	1,264,223
21. 町 債 (村 債)	1,336,100	892,500	963,100	1,332,400	1,485,700	1,816,800
歳 入 合 計	9,499,484	9,162,529	9,128,487	10,428,861	10,624,211	15,274,154

【歳出】	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
1. 議 会 費	100,621	92,702	95,054	90,798	87,998	111,236
2. 総 務 費	1,151,847	1,372,252	1,224,481	1,363,022	1,378,052	1,372,607
3. 民 生 費	2,044,801	2,144,655	2,192,652	2,579,325	2,400,057	2,380,317
4. 衛 生 費	665,742	693,936	687,634	626,422	629,454	715,607
5. 農 林 水 産 業 費	740,244	499,692	486,619	488,010	453,596	468,098
6. 商 工 費	121,918	125,902	103,319	118,892	122,339	131,548
7. 土 木 費	1,519,708	944,565	1,076,265	1,207,025	1,190,187	1,044,529
8. 消 防 費	322,621	373,964	329,218	368,554	329,622	380,631
9. 教 育 費	657,929	623,036	654,825	1,385,788	1,380,789	2,460,057
10. 災 害 復 旧 費	1,088	33,813	19,295	18,265	51,266	101,261
11. 公 債 費	1,493,543	1,594,431	1,720,093	1,673,310	1,666,967	1,627,059
12. 諸 支 出 金	318,517	375,318	248,075	247,464	621,738	1,114,767
歳 出 合 計	9,138,579	8,874,266	8,837,530	10,166,875	10,312,065	11,907,717

● 特別会計決算額 (平成23年度)

(単位:千円)

会 計 名	歳 入	歳 出
住宅新築改修資金等貸付事業	13,644	12,969
シビックセンター	42,019	41,941
国民健康保険事業	2,659,272	2,578,346
天野診療所事業	9,207	8,708
後期高齢者医療事業	512,879	510,843
介護保険事業	2,229,180	2,175,603
下水道事業	511,703	506,803
花園観光施設運営事業	75,628	73,442
花園守口ふるさと村運営事業	23,148	23,148
花園梁瀬簡易水道事業	5,849	5,315
合 計	6,082,529	5,937,118

● 企業会計決算額 (平成23年度)

(単位:千円)

水道事業	収益の収入	332,809
	収益の支出	248,942
	資本の収入	26,485
	資本の支出	97,692



議会・選挙

● 町議会議員 (平成24年8月1日現在)

議席	氏名	所属党派	所属委員会
1	雑賀増己	無所属	総務産業
2	福岡久二子	無所属	厚生文教
3	西村善一	無所属	総務産業
4	氏岡誠	無所属	総務産業
5	新堀行雄	無所属	◎厚生文教
6	浦中隆男	無所属	◎総務産業
7	平野皖三	無所属	厚生文教
8	大原清明	無所属	厚生文教
9	藤井昭雄	無所属	○総務産業
10			
11	東芝弘明	日本共産党	○厚生文教
12	宮井健次	日本共産党	総務産業
13	赤阪岩男	無所属	厚生文教
14	堀龍雄	無所属	

(◎…常任委員長 ○常任副委員長)

● 歴代議長

氏名	就任年月日	退任年月日
三田玄房	昭33.8.6	昭34.11.28
辻本伝一郎	昭34.12.19	昭37.7.26
胡麻正義	昭37.8.1	昭38.7.31
森田繁右工門	昭38.8.1	昭39.7.31
森脇桂一郎	昭39.8.1	昭41.7.26
畠中庄一	昭41.8.3	昭43.8.5
宇野勝	昭43.8.5	昭45.7.26
北田通	昭45.7.28	昭49.7.26
山田義晴	昭49.8.2	昭51.7.30
里神昌雄	昭51.7.30	昭52.7.29
山本定	昭52.7.29	昭53.7.26
関原茂三	昭53.8.2	昭55.8.1
松本吉正	昭55.8.1	昭57.7.26
宮本忠次	昭57.7.28	昭59.7.26
山添義明	昭59.7.27	昭61.7.26
木村皖一	昭61.7.28	昭63.7.27
前畑和美	昭63.7.28	平2.7.26
森信太郎	平2.7.30	平4.7.28
井本菊弘	平4.7.28	平6.7.26
向江祥晃	平6.7.28	平8.7.30
森敏夫	平8.7.30	平10.7.26
山田昌美	平10.7.30	平12.7.26
塚本恒雄	平12.7.26	平14.7.26
前田佳昭	平14.7.30	平18.7.26
西林武仁	平18.8.1	平20.7.28
田和弘満	平20.7.28	平22.7.26
大原清明	平22.7.28	平24.8.1
堀龍雄	平24.8.1	在任中

● 歴代副議長

氏名	就任年月日	退任年月日
森脇桂一郎	昭33.8.6	昭35.6.15
向山博一	昭35.6.15	昭37.7.26
宇野勝	昭37.8.1	昭38.7.31
北田通	昭38.8.1	昭39.7.31
畠中庄一	昭39.8.1	昭41.7.26
岡村憲一	昭41.8.3	昭41.8.21
溝端康雄	昭41.9.1	昭43.8.5
北田通	昭43.8.5	昭45.7.26
山本定	昭45.7.28	昭47.7.27
里神昌雄	昭47.7.28	昭49.7.26
関原茂三	昭49.8.2	昭51.7.30
松本吉正	昭51.7.30	昭52.7.29
築野秀太郎	昭52.7.29	昭53.7.26
浦藪英夫	昭53.8.2	昭55.8.1
山添義明	昭55.8.1	昭57.7.26
西谷渉	昭57.7.28	昭59.7.26
木村皖一	昭59.7.27	昭61.7.26
前畑和美	昭61.7.28	昭63.7.27
田中欽也	昭63.7.28	平2.7.26
井本菊弘	平2.7.30	平4.7.28
向江祥晃	平4.7.28	平6.7.26
森敏夫	平6.7.28	平8.7.30
山田昌美	平8.7.30	平10.7.26
塚本恒雄	平10.7.30	平12.7.26
前田佳昭	平12.7.26	平14.7.26
田和弘満	平14.7.30	平18.7.26
平井義照	平18.8.1	平20.7.28
大原清明	平20.7.28	平22.7.26
堀龍雄	平22.7.28	平24.8.1
赤阪岩男	平24.8.1	在任中

●資料(議会事務局)

● 有権者の状況 (平成25年3月2日現在)

(単位:人)

投票区別	男	女	計	投票区別	男	女	計
第1投票所(高田)	129	189	318	第19投票所(大畑)	13	16	29
第2投票所(広口)	105	125	230	第20投票所(中飯降)	444	512	956
第3投票所(滝)	56	59	115	第21投票所(山崎)	71	65	136
第4投票所(東谷)	53	54	107	第22投票所(教良寺)	63	68	131
第5投票所(平)	60	53	113	第23投票所(三谷)	233	268	501
第6投票所(下津川)	12	15	27	第24投票所(寺尾)	183	206	389
第7投票所(笠田西部)	196	216	412	第25投票所(宮本)	55	50	105
第8投票所(笠田中)	263	300	563	第26投票所(東渋田)	324	385	709
第9投票所(笠田東)	841	1,036	1,877	第27投票所(西渋田)	293	341	634
第10投票所(真和)	264	370	634	第28投票所(四邑)	147	165	312
第11投票所(佐野)	304	329	633	第29投票所(志賀)	102	108	210
第12投票所(柏木)	144	171	315	第30投票所(天野)	122	135	257
第13投票所(大谷)	473	541	1,014	第31投票所(新城)	54	59	113
第14投票所(丁ノ町)	616	720	1,336	第32投票所(新子)	23	31	54
第15投票所(妙寺南)	728	865	1,593	第33投票所(久木)	23	28	51
第16投票所(妙寺北)	602	708	1,310	第34投票所(梁瀬)	118	147	265
第17投票所(広野)	79	76	155				
第18投票所(短野)	27	28	55	合計	7,220	8,439	15,659

※()内は投票所所在地もしくは投票区域を記載。



議会・選挙

● 選挙の投票状況

選挙の種類	執行日	当日有権者数(人)			投票者数(人)			投票率(%)
		総数	男	女	総数	男	女	
参議院議員(選挙区)	平成19年7月29日	16,713	7,807	8,906	11,159	5,248	5,911	66.77
町長	平成19年9月30日	16,560	7,713	8,847	10,939	4,992	5,947	66.06
町議会議員補欠	平成19年9月30日	16,560	7,713	8,847	10,928	4,986	5,942	65.99
町議会議員	平成22年7月25日	15,988	7,394	8,594	12,006	5,477	6,529	75.09
町長	平成23年10月2日	15,745	7,270	8,475	11,849	5,425	6,424	75.26
町議会議員補欠	平成23年10月2日	15,745	7,270	8,475	11,840	5,419	6,421	75.20
衆議院議員(小選挙区)	平成24年12月16日	15,670	7,216	8,454	10,628	4,983	5,645	67.82

※平成19年及び平成23年の県議会議員選挙は、無投票。



保健・衛生

● 医療機関の状況 (平成25年2月1日現在)

区分	総合病院	診療所 (国保直診)	医院	歯科医院	眼科医院	耳鼻咽喉科 医院	施術所・ 柔整医院など	計
医療機関数	1	1	12	10	1	1	16	42
ベッド数	104	0	39	0	0	0	0	143

● 各種健康保険の状況

区分 年度	国民健康保険			介護保険			後期高齢者医療保険		
	被保険者数 (人)	保健給付費 (千円)	一人当たり 給付費(円)	被保険者数 (人)	保健給付費 (千円)	一人当たり 給付費(円)	被保険者数 (人)	保健給付費 (千円)	一人当たり 給付費(円)
平成18年度	10,054	1,667,195	230,754	5,875	1,507,797	256,647	-	-	-
平成19年度	9,843	1,718,190	242,135	5,968	1,609,493	269,687	-	-	-
平成20年度	6,827	1,805,675	260,936	6,019	1,707,370	283,662	3,329	2,570,619	772,190
平成21年度	6,755	1,728,035	255,816	6,045	1,871,858	309,653	3,372	2,865,652	849,837
平成22年度	6,527	1,753,995	268,729	6,031	1,943,990	322,333	3,379	2,959,103	875,733
平成23年度	6,365	1,724,158	270,881	6,018	2,039,396	338,882	3,410	3,036,523	890,476

●資料(やすらぎ対策課)

● 各種予防接種及び検診の状況 (平成23年度)

区分	B C G	ポリオ生ワクチン	麻疹風疹混合	二種混合	三種混合	日本脳炎	胃がん検診	乳がん検診	子宮がん検診	大腸がん検診	前立腺がん検診	肺がん検診	結核検診	3歳児健診	1歳6か月児健診	4・6か月児健診
対象人員	104	229	574	148	437	1,365	5,741	4,620	5,468	5,741	4,459	5,741	3,095	119	115	213
実施人員	102	207	543	128	404	893	641	780	973	1,688	185	1,824	1,199	114	111	205
実施率(%)	98%	90%	95%	86%	92%	65%	11%	17%	18%	29%	4%	32%	39%	96%	97%	96%

●資料(やすらぎ対策課)



生活環境

● 斎場の火葬状況

(単位:体)

区分 年度	町 内				町 外				計
	男	女	その他	計	男	女	その他	計	
平成18年度	113	91	3	207	2	2	1	5	212
平成19年度	118	99	4	221	2	1	0	3	224
平成20年度	157	120	4	281	2	0	0	2	283
平成21年度	117	130	2	249	4	1	0	5	254
平成22年度	148	116	4	268	7	2	0	9	277
平成23年度	124	121	6	251	2	5	3	10	261

●資料(生活環境課)

● 斎場(通夜・告別式)の利用状況

(単位:体)

区分 年度	町内・通夜及び告別式		町外・通夜及び告別式		計
	男	女	男	女	
平成18年度	32	21	1	1	55
平成19年度	40	24	0	0	64
平成20年度	55	32	0	0	87
平成21年度	35	33	0	0	68
平成22年度	42	27	2	1	72
平成23年度	32	24	0	0	56
23告別式のみ	0	1	1	0	2

●資料(生活環境課)

● し尿処理の推移

(単位:kl)

区分 年度	生し尿	浄化槽汚泥	計
平成18年度	7,169	1,923	9,092
平成19年度	6,235	2,873	9,108
平成20年度	5,960	2,781	8,741
平成21年度	5,864	2,685	8,549
平成22年度	6,075	2,664	8,739
平成23年度	5,861	2,524	8,385

●資料(生活環境課)

● ごみ処理(年間収集量)の推移

(単位:t)

区分 年度	古紙等	その他プラ	ペットボトル	可燃ごみ	粗大(可燃)	缶類	ビン類	破碎選別	粗大(破碎)	その他不燃	有害危険ごみ	埋立ごみ	計
平成18年度	646	311	38	2,665	38	90	198			379			4,365
平成19年度	655	277	40	2,631	34	83	203			330			4,253
平成20年度	608	245	38	2,590	32	76	209			286			4,084
平成21年度	605	193	34	2,350	63	72	194	102	53	124	14	0	3,804
平成22年度	626	146	37	2,761	106	72	186	134	101	0	18	50	4,237
平成23年度	636	133	34	2,856	123	67	182	133	84	0	18	66	4,332

※平成21年8月から、橋本市周辺広域ごみ処理場「エコライフ紀北」へ搬入処理開始。

※ビン類のうち生きビン並びに古紙等は、町独自の処理。

●資料(生活環境課)



社会福祉

● 社会福祉の状況

施設区分	施設数
保育所	7
母子寮	1 (事務組合)
老人ホーム	2 (うち事務組合1)
児童公園	23
老人憩の家	2
児童館	10
隣保館	6
ゆうゆうコミュニティホーム	1
高齢者生活福祉センター	1

● 国民年金被保険者の状況

(単位:人)

区分 年度	被 険 者 種 別			
	総 数	第1号 (強制)	第1号 (任意)	第3号
平成18年度	5,066	3,757	41	1,268
平成19年度	4,741	3,503	38	1,200
平成20年度	4,545	3,328	48	1,169
平成21年度	4,349	3,178	37	1,134
平成22年度	4,158	3,014	37	1,107
平成23年度	4,005	2,885	32	1,088

●資料(住民福祉課)

● 保育所の入所状況 (平成25年2月1日現在)

(単位:人)

保育所名	入所児童数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
笠田保育所	54	3	5	13	12	13	8
中部保育所	44	5	3	8	10	9	9
丁ノ町保育所	100	7	17	16	23	16	21
妙寺保育所	112	9	15	19	22	26	21
中飯降保育所	31	2	3	5	4	13	4
渋田保育所	42	1	4	8	12	8	9
四郷保育所	8	0	0	2	2	2	2
計 (7)	391	27	47	71	85	87	74

●資料(教育委員会)

● 国民年金・拠出年金の給付状況 (毎年4月1日現在)

(単位:千円)

区分 年度	老齢年金		老齢基礎年金		障害年金		障害基礎年金		母子年金		遺族基礎年金		寡婦年金		死亡一時金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成21年度	945	377,477	4,823	3,156,070	41	36,634	306	271,774	0	0	10	6,988	11	5,012	2	390
平成22年度	846	338,865	4,909	3,229,584	36	32,080	309	275,884	0	0	10	6,988	10	4,610	10	2,005
平成23年度	754	301,394	5,046	3,324,405	33	29,189	312	276,317	0	0	10	6,960	9	4,052	0	0

●資料(住民福祉課)



運 輸

● 自動車台数 (毎年4月1日現在)

(単位:台)

区分 年度	貨物車	乗用車	特殊自動車	大型特殊	軽貨物車	軽乗用車	小型二輪	原付自動車	小型特殊
平成18年度	1,238	6,068	274	36	4,482	4,080	378	3,326	285
平成19年度	1,184	6,554	278	35	4,590	4,310	400	3,275	275
平成20年度	1,066	5,630	274	40	4,502	4,468	425	3,135	263
平成21年度	982	5,522	267	47	4,393	4,502	424	3,031	251
平成22年度	921	5,399	255	44	4,281	4,587	405	2,932	239
平成23年度	883	5,380	261	44	4,240	4,650	421	2,820	228

●資料(税務課・紀北県税事務所)



生活の安全

● 交通事故発生状況

年次	交通事故		
	発生件数	傷者	死者
平成19年	131	171	0
平成20年	140	163	0
平成21年	139	175	4
平成22年	141	168	3
平成23年	103	125	0

●資料(和歌山県警察本部)

● 救急業務状況

(単位:件)

年次	総数	交通事故	一般負傷	急病	その他
平成19年	850	115	128	503	104
平成20年	834	101	134	511	88
平成21年	754	97	132	446	79
平成22年	830	109	127	525	69
平成23年	786	91	123	480	92
平成24年	846	94	142	486	124

●資料(伊都消防組合)

● 消防施設等の状況 (平成24年12月末日現在)

区分	人員	消防車等						消火栓	防火水槽	プール
		消防車	ポンプ車	小型ポンプ	積載車	指令車	救急車	(150以上)	(40以上)	井戸
伊都消防組合	56	3	3	1	1	1	2	—	—	—
かつらぎ町消防団	439	0	8	32	30	1	—	79	131	8

※消防車…救助工作車、搬送車、予防査察車

※ポンプ車…水槽付消防ポンプ自動車、ポンプ自動車、化学消防自動車

●資料(伊都消防組合、総務課)

● 火災発生及び被害状況

年次	火災発生件数・					焼損棟数	罹災世帯	死傷者		焼損面積 (㎡)	焼失面積 (a)	損害額 (千円)
	総数	建物	車両	林野	その他			死者	傷者			
平成19年	10	6	0	1	3	6	3	1	1	716	3	24,108
平成20年	9	3	0	1	5	3	2	0	3	240	10	9,698
平成21年	8	4	0	1	3	9	4	0	0	770	20	15,746
平成22年	6	2	1	0	3	2	0	1	0	517	0	8,541
平成23年	5	1	0	1	3	1	0	0	0	0	23	4,499
平成24年	8	6	0	0	2	6	5	0	2	285	0	16,556

●資料(伊都消防組合)



建設

● 道路の状況 (平成24年4月1日現在)

区分	路線数	延長(m)	舗装延長(m)	改良延長(m)	舗装率(%)	改良率(%)
国道	4	60,966	60,498	57,365	99.2	94.1
県道	10	58,863	54,957	47,363	93.3	80.4
町道	826	431,677	378,363	278,390	87.6	64.5
農道	453	198,830	180,322	181,820	90.7	91.4

●資料(建設課)

● 橋梁の状況 (平成24年4月1日現在)

区分	橋梁数			延長(m)
	総数	永久橋	木橋	
国道	77	77	0	1,455
県道	33	33	0	625
町道	344	340	4	5,191
農道	0	0	0	0
総数	454	450	4	7,271

※農道は15m以上の橋梁を対象。

●資料(建設課)



水道

● 水道給水の状況 (平成24年3月末日現在)

施設名	計画給水人口(A)	給水区域内人口(B)	給水戸数	給水人口(C)	普及率(C/B)
上水道	13,400人	13,443人	5,170戸	13,239人	98.6%
教良寺簡易水道	167	146	57	146	100.0
広口簡易水道	391	232	85	232	100.0
渋田簡易水道	2,290	1,831	652	1,768	96.5
見好東部簡易水道	1,170	903	333	903	100.0
御所簡易水道	183	153	44	153	100.0
天野簡易水道	350	294	109	294	100.0
新城簡易水道	160	130	62	130	100.0
梁瀬簡易水道	400	221	117	221	100.0
久木簡易水道	120	18	14	18	100.0
大久保飲料水供給施設	100	101	30	101	100.0
大畑飲料水供給施設	96	30	10	30	100.0

●資料(上下水道課)



産業

● 農家数の推移

(単位:戸)

	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家	計
平成2年	529	472	1,031	2,032
平成7年	515	432	948	1,895
平成12年	460	307	683	1,450
平成17年	476	303	504	1,283
平成22年	477	241	454	1,172

●資料(農業センサス)

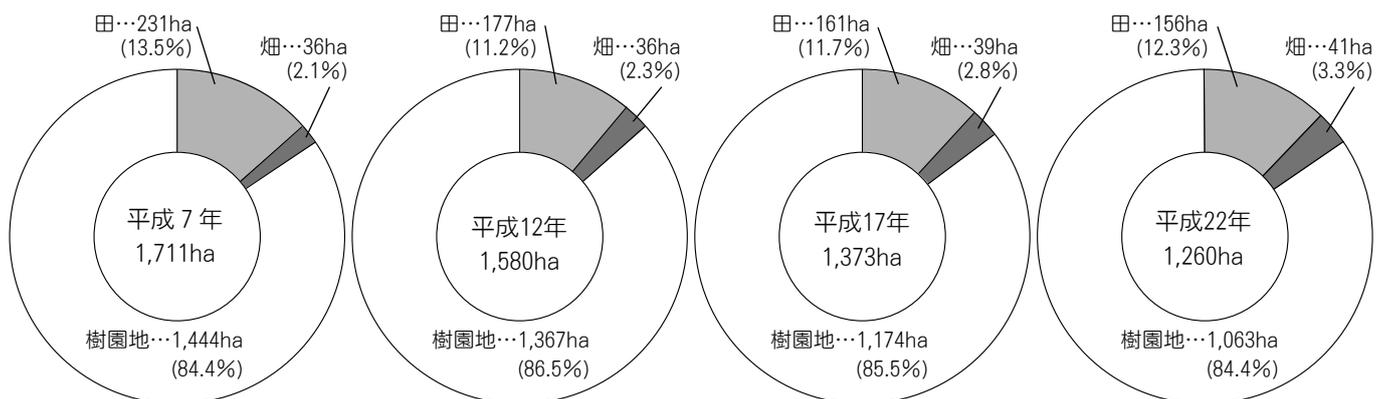
● 経営耕地規模別農家数

(単位:戸)

	総数	例外規定	0.3ha未満	0.3~0.5ha	0.5~1ha	1~1.5ha	1.5~2ha	2~2.5ha	2.5ha以上
昭和60年	2,415	6	600	328	602	372	254	155	98
平成2年	2,032	2	407	283	575	346	195	139	85
平成7年	1,895	2	381	280	516	328	191	119	78
平成12年	1,450	40		269	493	267	189	106	86
平成17年	1,283	54		235	430	229	166	169	
平成22年	1,172	35		223	399	227	136	152	

●資料(農業センサス)

● 経営土地種類別面積

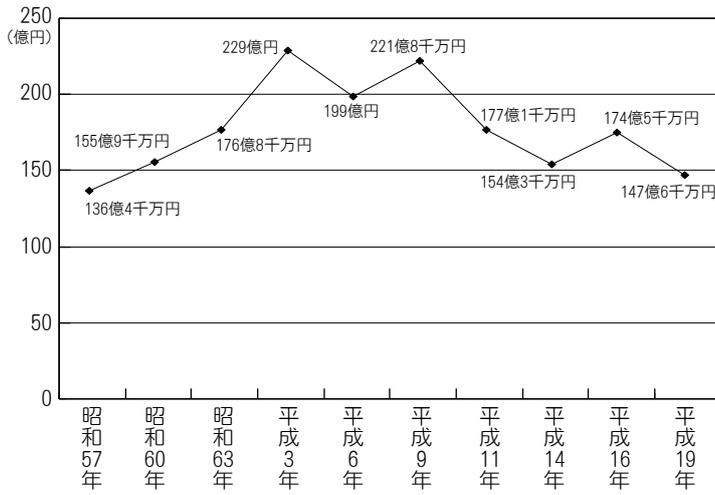


●資料(農業センサス)



産業

● 年間販売額の推移



●資料(商業統計調査)

● 商業の状況 (平成22年商業統計)

区分	商店数	従業員数 (人)	年間販売額 (百万円)	
卸売業	20	125	2,187	
小売業	252	1,068	12,575	
内訳	着物衣服小売業	24	59	399
	飲食料品小売業	88	519	5,904
	自動車・自転車小売業	13	47	974
	家具・建具・什器小売業	32	76	699
	その他小売業	95	367	4,599
合計	272	1,193	14,762	

●資料(商業統計調査)

● 工業の状況 (平成22年工業統計)

(単位:総出荷額=万円)

区分	平成22年	
	事業所数	従業者数
食料	7	316
飲料・飼料	3	76
繊維	15	176
木材	4	60
家具	—	—
パルプ	1	300
印刷	3	24
化学	2	233
石油	—	—
プラスチック	1	6
ゴム製品	—	—
皮革	—	—
窯業	3	53
鉄鋼	—	—
非鉄	—	—
金属	5	103
はん用機械	—	—
生産用機械	—	—
業務用機械	—	—
電子・デバイス	1	13
電気機械	1	116
情報通信機械	—	—
輸送機械	—	—
その他	—	—
合計	46	1476
総出荷額	3,263,586	

●資料(工業統計調査)

● 産業大分類別就業人口

(単位:人)

産業別	平成17年			平成22年			
	計	男	女	計	男	女	
総数	9,991	5,580	4,411	8,858	4,890	3,968	
第一次産業	農業	2,566	1,269	1,297	2,182	1,158	1,024
	林業	28	27	1	22	20	2
	漁業	6	4	2	4	3	1
	計	2,600	1,300	1,300	2,208	1,181	1,027
第二次産業	鉱業	8	7	1	6	4	2
	建設業	667	589	78	556	475	81
	製造業	1,566	1,031	535	1,326	906	420
	計	2,241	1,627	614	1,888	1,385	503
第三次産業	卸売小売業	1,258	591	667	1,108	491	617
	金融保険業	145	58	87	129	42	87
	不動産業	30	20	10	35	25	10
	運輸通信業	427	379	48	419	355	64
	電気・ガス・水道業	45	36	9	47	38	9
	サービス業	2,732	1,179	1,553	2,612	1,068	1,544
	公務	469	363	106	412	305	107
計	5,106	2,626	2,480	4,762	2,324	2,438	
分類不能	44	27	17	63	31	32	

●資料(国勢調査)



教育

● 中学校の状況 (平成24年 5月1日現在)

学校名	教職員数(人)	学級数	生徒数(人)		
			総数	男	女
笠田中学校	20	8	212	107	105
妙寺中学校	19	7	185	88	97
計	39	15	397	195	202

●資料(教育委員会)

● 小学校の状況 (平成24年 5月1日現在)

学校名	教職員数(人)	学級数	児童数(人)		
			総数	男	女
笠田小学校	25	13	276	141	135
大谷小学校	16	8	92	55	37
妙寺小学校	22	14	310	160	150
三谷小学校	10	5	37	17	20
洪田小学校	14	7	87	47	40
天野小学校	4	2	6	5	1
梁瀬小学校	休校				
計	91	49	808	425	383

●資料(教育委員会)

● 幼稚園の状況 (平成24年 5月1日現在)

園名	教職員数(人)	学級数	園児数(人)		
			総数	男	女
笠田幼稚園	2	2	13	6	7
大谷幼稚園	2	2	6	2	4
妙寺幼稚園	2	2	22	14	8
三谷幼稚園	休園				
洪田幼稚園	1	1	4	1	3
花園幼稚園	1	1	2	0	2
計	8	8	47	23	24

●資料(教育委員会)

● 指定文化財一覧 (平成25年 2月末日現在)

◎国指定文化財

I. 有形文化財

(1) 建造物

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
宝来山神社本殿	4棟	昭和25.8.29	萩原	宝来山神社	桃山時代(慶長19年・1614)
丹生都比売神社楼門	1棟	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	室町時代(明応8年・1499)
丹生都比売神社本殿	4棟	昭和40.5.29	上天野	丹生都比売神社	第1殿=江戸時代(正徳5年・1715) 第2殿=室町時代(文明元年・1469) 第3殿=明治時代(明治34年・1901) 第4殿=室町時代(文明元年・1469)

(2) 美術工芸品

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
〔彫〕銅造菩薩半跏像	1軀	昭和61.6.6	滝	極楽寺	飛鳥時代後期(白鳳時代)
〔彫〕木造狛犬	2対	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代
〔彫〕木造狛犬	2対	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代
〔工〕銀銅蛭卷太刀拵(国宝)	1口	昭和30.2.2	上天野	丹生都比売神社	平安時代後期
〔工〕兵庫鎖太刀	2口	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代後期
〔工〕鍍金長覆輪太刀	1口	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代後期
〔工〕鍍金長覆輪太刀	1口	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代後期
〔工〕金銅琵琶	1面	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代
〔工〕木造鍍金装神輿	2基	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	室町時代
〔書〕紙本墨書法華經	8帖	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	法華經=平安時代後期 寄進状=南北朝時代 (正平5年・1350)
〔書〕紙本墨書後村上 天皇宸翰寄進状	1卷				
〔文〕紀伊国榊田庄絵図	1幅	昭和50.6.12	萩原	宝来山神社	鎌倉時代
〔歴〕高野枹	1口	昭和56.6.9	柏木	柏木区	室町時代(応永3年・1396)

II. 民俗文化財

(1) 重要無形民俗文化財

III. 記念物

(1) 史跡

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
花園の御田舞	1件	昭和56.1.21	花園梁瀬	花園郷土古典芸能保存会	

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
高野山町石	58基	昭和52.7.14	山崎・教良寺・上天野・神田	かつらぎ町	鎌倉時代
丹生都比売神社境内	1所	平成14.12.19	上天野	丹生都比売神社・かつらぎ町	

◎県指定文化財

I. 有形文化財

(1) 建造物

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
宝来山神社末社東殿・西殿	2棟	昭和46.3.22	萩原	宝来山神社	江戸時代中期
神願寺本堂	1棟	平成11.7.9	萩原	神願寺	江戸時代(文政13年・1830)
石造五輪塔	1基	昭和46.7.13	平	大久保町内会	南北朝時代(永徳4年・1384)
薬師寺薬師堂厨子	1基	昭和40.9.20	御所	御所地区文化財顕彰保護委員会	南北朝時代
石造五輪卒塔婆群	4基	昭和40.4.14	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代～南北朝時代
石造宝篋印塔	2基	昭和46.7.13	上天野	丹羽眞理子	南北朝時代
南垣内地蔵堂	1棟	平成19.6.12	花園北寺	花園北寺区	桃山時代(天正17年・1589)



教育

(2) 美術工芸品

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
(彫)木造阿弥陀如来坐像	1 軀	昭和46. 7. 13	笠田中	無量寺	平安時代後期
(彫)木造薬師如来坐像	1 軀	昭和40. 9. 20	御 所	御所地区文化財顕彰保護委員会	平安時代中期
(彫)木造菩薩坐像	1 軀	昭和40. 9. 20	御 所	御所地区文化財顕彰保護委員会	平安時代中期
(彫)木造地藏菩薩立像	1 軀	昭和40. 9. 20	御 所	御所地区文化財顕彰保護委員会	平安時代中期
(工)妙見神社の梵鐘	1 口	昭和40. 4. 14	滝	北辰妙見神社	鎌倉時代(文永2年・1265)
(工)楽太鼓縁(鉦鼓縁)	1 対	昭和40. 4. 14	上天野	丹生都比売神社	室町時代
(工)鼓胴	3 個	昭和40. 4. 14	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代～南北朝時代
(工)瑞華双鸞八稜鏡	1 面	昭和40. 4. 14	上天野	丹生都比売神社	平安時代後期
(書)後伏見院願文	1 巻	昭和38. 3. 26	妙 寺	松 林 延 忠	鎌倉時代(嘉元3年・1305)
(典)大般若経	569帖	昭和44. 7. 14	滝	北辰妙見神社	鎌倉時代～江戸時代

II. 民俗文化財

(1) 無形民俗文化財

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
天野の御田祭	1 件	昭和56. 7. 13	上天野	天野の御田祭保存会	
六斎念仏	1 件	昭和34. 8. 18	下天野	六斎念仏講	
花園の仏の舞	1 件	昭和40. 4. 14	花園梁瀬	花園郷土古典芸能保存会	国選択=昭和51. 12. 25
たい松押し	1 件	平成11. 7. 9	花園梁瀬	花園郷土古典芸能保存会	

III. 記念物

(1) 史 跡

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
中世農耕用水路跡文覚井	1 所	昭和47. 4. 13	萩原・笠田中・笠田東	かつらぎ町・文覚井水利組合	鎌倉時代～室町時代
三谷坂	1 所	平成23. 3. 15	三谷	かつらぎ町・三谷自治区	鎌倉時代以前

(2) 天然記念物

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
十五社の樟樹	1 本	昭和33. 4. 1	笠田東	妙楽寺薬師講	
さざんかの老樹	1 本	昭和34. 1. 8	東 谷	堀越癩観音	

◎町指定文化財

I. 有形文化財

(1) 建造物

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
畑谷池興山上人五輪塔	1 基	平成14. 3. 30	妙 寺	畑谷池水利組合	桃山時代(天正17年・1589)
検校雅真五輪塔	1 基	平成15. 3. 31	東洪田	東洪田自治区	鎌倉時代後期～南北朝時代
池之窪阿弥陀堂	1 棟	平成9. 2. 24	花園池之窪	池之窪町内会	平安時代後期
北寺観音堂	1 棟	平成9. 2. 24	花園北寺	花園北寺区	
峯手赤滝高堂寺	1 棟	平成9. 2. 24	花園梁瀬	峯手町内会	江戸時代(寛政元年・1789年)

(2) 美術工芸品

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
(絵)大絵馬	6 面	平成16. 3. 31	上天野	丹生都比売神社	4面=明和8年 1面=享保19年 1面=未詳
(彫)木造薬師如来坐像	3 軀	平成14. 3. 30	妙 寺	遍照寺	(薬師如来=文禄5年・1596)
(彫)木造大日如来坐像					桃山時代(大日如来=文禄4年・1595)
(彫)木造阿弥陀如来坐像					(阿弥陀如来=天正18年・1590)
(彫)木造薬師如来坐像	1 軀	平成13. 3. 30	教良寺	阿弥陀寺	平安時代後期
(彫)石造地藏菩薩立像	1 軀	平成15. 3. 31	島	地藏寺	室町時代(永禄4年・1561)
(彫)面類	6 面	平成16. 3. 31	上天野	丹生都比売神社	室町時代～江戸時代
(彫)木造二天立像	1 軀	平成21. 7. 31	下天野	延命寺	平安時代後期
(彫)木造大日如来坐像	1 軀	平成22. 4. 30	新 城	新城自治区	平安時代後期
(工)箏	1 面	平成16. 3. 31	上天野	丹生都比売神社	江戸時代(延宝2年・1674)
(工)太鼓	1 口	平成16. 3. 31	上天野	丹生都比売神社	江戸時代(寛文3年・1663)
(工)太刀	2 口	平成16. 3. 31	上天野	丹生都比売神社	室町時代(永正17年・1520)
(工)太刀	2 口	平成16. 3. 31	上天野	丹生都比売神社	室町時代(享禄2年・1529)
(文)短野区文書	1382点	平成23. 4. 28	短 野	短野自治区	鎌倉～昭和時代(文永10年・1273～昭和25年・1950)
(文)遍照寺旧本堂棟札	1 枚	平成14. 3. 30	妙 寺	遍照寺	桃山時代(天正15年・1587)

II. 民俗文化財

(1) 無形民俗文化財

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
中南のおこない	1 件	平成8. 1. 5	花園中南	中南町内会	

◎登録文化財

I. 有形文化財

(1) 建造物

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
初桜酒造主屋・仕込蔵・囲蔵	3 棟	平成18. 8. 3	中飯降	笠 勝 清 人	大正初期・明治初期・明治後期
小田井灌漑用水路中谷川水門	1 基	平成18. 3. 2	中飯降	小田井土地改良区	明治時代(明治45年・1912)
小田井灌漑用水路小庭谷川渡井	1 基	平成18. 3. 2	笠田東	小田井土地改良区	明治時代(明治42年・1909)
小田井灌漑用水路龍之渡井	1 基	平成18. 3. 2	高 田	小田井土地改良区	大正時代(大正8年・1919)

注) 1. 美術工芸品のうち、(絵)は絵画、(彫)は彫刻、(工)は工芸品、(書)は書跡、(典)は典籍、(文)は古文書、(歴)は歴史資料を示す。

2. 指定年月日が「昭和25. 8. 29」の文化財は、明治30年(1897)制定の「古社寺保存法」及び、昭和4年(1929)制定の「国宝保存法」によって国宝に指定されていたものである(旧国宝)。

◎埋蔵文化財包蔵地

1. 中飯降城跡
2. 妙寺墳墓
3. 大藪経塚
4. 佐野廃寺
5. 移遺跡
6. 船岡山遺跡
7. 東洪田遺跡
8. 笠田東墳墓
9. 笠田東遺跡
10. 佐野遺跡
11. 萩原Ⅰ遺跡
12. 西洪田1号墳
13. 丹生都比売神社境内遺跡
14. 中飯降遺跡
15. 大谷遺跡
16. 丁ノ町遺跡
17. 萩原Ⅱ遺跡
18. 西飯降遺跡
19. 妙寺遺跡
20. 背山城跡
21. 窪山城跡
22. 草田山城跡
23. 皮張東城跡
24. 皮張西城跡
25. 西飯降Ⅱ遺跡
26. 丁ノ町・妙寺遺跡
27. 窪・萩原遺跡
28. 西洪田遺跡
29. 加陀寺前経塚
30. (21は欠番)



年 表

年 代	事 項	年 代	事 項
646年 (大化2年)	大化改新の詔に「紀伊の兄山(背山)」が畿内国の南限と定められる。		
690年 (持統4年)	阿閉皇女が紀伊国に旅する途次、背山を歌に詠む。		
734年 (天平6年)	平城宮跡出土の木簡に「紀伊国伊都郡指理(飯降)郷」という郷名がみえる。		
811年 (弘仁2年)	萩原の駅家が廃止される。		
816年 (弘仁7年)	太政官符により空海が嵯峨天皇から高野山を与えられる。		
1049年 (永承4年)	官省符荘上方が成立する。		
1063年 (康平6年)	官省符荘下方が成立する。		
1146年 (久安2年)	洪田荘が成立する。また、この年までに六箇七郷が成立する。		
1183年 (寿永2年)	笠田荘が神護寺領となる。		
1585年 (天正13年)	秀吉の紀州攻めにより、高野山は秀吉に帰順し、旧領は安堵され、押領地は没収される。		
1591年 (天正19年)	町域のすべてに太閤検地が実施される。この年と翌年に町域の河南部の大部分が高野山寺領として認められる。		
1600年 (慶長5年)	浅野幸長が和歌山に封ぜられる。		
1601年 (慶長6年)	浅野幸長が町域の河北部に慶長検地を実施する。		
1619年 (元和5年)	浅野氏が広島に移封され、代わって徳川頼宣が封ぜられる。		
1707年 (宝永4年)	吉宗の命により大畑才蔵が小田井を開削する。		
1776年 (安永5年)	高野山寺領に百姓一揆がおこる。		
1823年 (文政6年)	紀州藩領に百姓一揆がおこる。		
1863年 (文久3年)	8月 天誅組の変に町域住民も徴発される。		
1865年 (慶応元年)	5月 長州征討に町域住民も徴発される。		
1868年 (明治元年)	9月 明治と改元し、一世一元の制を定める。		
1869年 (明治2年)	2月 藩領の伊都代官所を伊都民政局、代官を知局事とし、組役所を郷役所、大庄屋を郷長とする。		
	8月 高野山寺領が堺県の管轄となる。		
1870年 (明治3年)	4月 堺県管轄の旧寺領が五条県の管轄となる。		
1871年 (明治4年)	1月 藩領の伊都民政局が伊都出庁となる。		
	6月 戸籍区が設置され、藩領の旧丁ノ町組が第78区となる。		
	7月 「廃藩置県」によって、和歌山藩は和歌山県となる。		
	11月 「改置府県」によって、五条県管轄の旧寺領が和歌山県となる。		
	12月 伊都出庁が伊都出張所となる。		
1872年 (明治5年)	3月 伊都出張所が粉河村に移転し、那賀出張所と改称される。		
	4月 郷長が戸長に、庄屋が副戸長となる。		
	6月 大区小区制が設置され、町域は第4大区1小区・5小区・6小区となる。		
1873年 (明治6年)	3月 小区の戸長を副区長、村の副戸長を戸長とする。		
	7月 地租改正条例を公布する。		
1874年 (明治7年)	3月 丹生都比売神社の大庵室を仮校舎		
		1875年 (明治8年)	4月 として第一村学を設置する(天野小学校の始まり)。 東村の妙楽寺を仮校舎として明倫小学校を設置する(笠田小学校の始まり)。
			5月 妙寺村の遍照寺を仮校舎として明智小学校を設置する(妙寺小学校の始まり)。
		1876年 (明治9年)	3月 島村の地藏寺を仮校舎として志磨小学校を設置する(洪田小学校の始まり)。 三谷村の丹生酒殿神社の一部を仮校舎として臨降小学校を設置する(三谷小学校の始まり)。
			4月 志賀村の大隆寺を仮校舎として志賀小学校を設置する。 滝村の極楽寺を仮校舎として滝小学校を設置する。 天野小学校を下天野村に移転し、常磐小学校と改称する。 丁ノ町村の和田寺を仮校舎として盛陽小学校を設置する(丁ノ町小学校の始まり)。 大畑村の勝楽寺を仮校舎として松上小学校を設置する(大畑小学校の始まり)。 短野村の観音寺を仮校舎として短野小学校を設置する。 大谷村の民家を仮校舎として大明小学校を設置する(大谷小学校の始まり)。
			5月 柏木村の宝蔵寺を仮校舎として拓智小学校を設置する(柏木小学校の始まり)。
			9月 星川村の旧寺院を仮校舎として松沢小学校を設置する(四邑小学校の始まり)。
			12月 平村の福德寺の下に校舎を建て平小学校を設置する。
		1877年 (明治10年)	3月 新城村の正覚寺を仮校舎として新城小学校を設置する。
			4月 広口村の法福寺を仮校舎として広口小学校を設置する。
		1878年 (明治11年)	6月 東洪田村の釈迦寺を仮校舎として東洪田小学校を設置する。
		1879年 (明治12年)	1月 郡区町村編制法によって、郡に郡長、村に戸長を置く。 地方税規則によって、区町村協議費(地価割・戸数割)が創設される。
			2月 伊都郡役所が妙寺村に設置される。
		1882年 (明治15年)	4月 平村下津川の西福寺を仮校舎として下津川小学校を設置する。 大谷小学校を新築し、移転する。
		1885年 (明治18年)	3月 常磐小学校を天野小学校と改称し、志賀・新城・上番・湯川・花坂を分校とする。
		1886年 (明治19年)	4月 志磨小学校と東洪田小学校が合併



年表

年 代	事 項	年 代	事 項
1888年 (明治21年)	4月 し、洪田小学校と改称する。 佐野村の開智小学校と東村の東小学校が合併し、笠田尋常小学校と改称する。	1918年 (大正7年)	12月 柏木尋常小学校が大谷尋常高等小学校と合併し、柏木分教場となる。 丁ノ町尋常小学校を妙寺尋常高等小学校に合併する。
1889年 (明治22年)	4月 市制町村制の施行に伴い、町域は笠田村、四郷村、大谷村、妙寺村、見好村、天野村の六か村となる。	1920年 (大正9年)	6月 笠田村が町制を施行する。
1890年 (明治23年)	10月 第1回村会議員の選挙を執行する。 伊都郡役所が橋本村大字橋本に移転する。	1922年 (大正11年)	12月 妙寺尋常高等小学校の講堂を新築する。
1896年 (明治29年)	8月 丁ノ町尋常小学校を新築し、移転する。	1923年 (大正12年)	4月 郡制が廃止される。 7月 大谷村隔離病舎を設置する。
1897年 (明治30年)	9月 郡制が施行される。	1926年 (大正15年)	4月 大谷尋常高等小学校柏木分教場を廃止する。 7月 郡長・郡役所が廃止される。
1898年 (明治31年)	1月 高田、窪、移、東、佐野の一部にあった分教場を閉鎖して、笠田尋常高等小学校に統合する。	1927年 (昭和2年)	4月 笠田町立笠田高等家政女学校を笠田東に設置する。 笠田町役場庁舎が完成する。
	6月 天野尋常小学校を増築し高等科を併置、天野尋常高等小学校と改称する。	1929年 (昭和4年)	9月 四郷村役場を新庁舎に移転する。
1899年 (明治32年)	4月 三谷尋常小学校に高等科を併置、三谷尋常高等小学校と改称する。	1934年 (昭和9年)	11月 三谷尋常高等小学校が現在地に校舎を新築し移転する。
1900年 (明治33年)	5月 妙寺尋常小学校を新築し高等科を併置、妙寺尋常高等小学校と改称する。	1935年 (昭和10年)	3月 笠田尋常高等小学校背ノ山分教場を廃止する。
	11月 妙寺村役場を妙寺高等小学校跡に移転する。	1936年 (昭和11年)	11月 天野村診療所を開設する。
1902年 (明治35年)	3月 紀和鉄道が全通し、笠田駅・妙寺駅が開業する。	1937年 (昭和12年)	6月 四郷村診療所を開設する。
	3月 天野尋常高等小学校の高等科を廃止する。	1938年 (昭和13年)	12月 天野村役場が中志賀の新庁舎に移転する。
	10月 志賀尋常小学校を大隆寺敷地に新築し移転する。	1940年 (昭和15年)	2月 笠田町立笠田高等家政女学校が県に移管される。
1904年 (明治37年)	6月 新城尋常小学校を新築し移転する。 四郷村隔離病舎を設置する。	1941年 (昭和16年)	2月 各町村に部落会、町内会が発足する。 4月 小学校を国民学校と改称する。
	6月 笠田女子補習学校を開設する。 笠田尋常高等小学校背ノ山分教場を設置する。	1942年 (昭和17年)	3月 県立笠田高等家政女学校を県立笠田高等女学校と改称する。
1906年 (明治39年)	4月 洪田農業補習学校を開設する。	1943年 (昭和18年)	4月 伊都西部青年学校が大谷に開設される。
	5月 丁ノ町農業補習学校を開設する。	1945年 (昭和20年)	8月 ポツダム宣言を受諾する。
	8月 新城農業補習学校を開設する。	1946年 (昭和21年)	10月 各町村が選挙管理委員会を設置する。 12月 各町村に農地委員会が設置され、農地改革が始まる。
	9月 三谷実業補習学校を開設する。 見好村隔離病舎を東洪田に設置する。	1947年 (昭和22年)	4月 各町村に民生委員会が設置され、社会福祉行政の充実をはかる。 9月 初めて知事、市町村長の公選を実施する。 9月 小学校及び中学校が発足する。
1909年 (明治42年)	4月 短野、大畑尋常小学校を妙寺尋常高等小学校に合併、畑野分教場を設置する。	1948年 (昭和23年)	3月 洪田小学校星川分校が四邑小学校として独立する。 妙寺小学校丁ノ町分校が再発足する。 3月 妙寺町自治体警察が発足し、妙寺町公安委員会を設置する。
	5月 妙寺実業補習学校を開設する。 大谷農業補習学校を開設する。	4月 学制改革によって、県立笠田高等学校が創立される。	
1910年 (明治43年)	9月 広口、下津川尋常小学校が合併して広口に校舎を新築し移転する。	1949年 (昭和24年)	12月 妙寺町健康保険組合を設置する。
1911年 (明治44年)	4月 妙寺村が町制を施行する。	1950年 (昭和25年)	11月 妙寺中学校の新校舎が完成する。
	4月 東谷、滝尋常小学校が広口尋常小学校と合併、高等科を併設して四郷尋常高等小学校と改称する。	1951年 (昭和26年)	1月 妙寺町・大谷村学校組合立妙寺中学校が発足する。 3月 四郷村公民館を開設する。 4月 妙寺町外五か町村伝染病隔離病舎一部事務組合を設立し、隔離病舎を紀北病院に併設する 妙寺町立妙寺保育所を開設する。
1912年 (明治45年)	4月 星川尋常小学校が洪田尋常高等小学校と合併し、星川分教場となる。		
1913年 (大正2年)	11月 四郷農業補習学校を開設する。		
1916年 (大正5年)	3月 妙寺女子補習学校を開設する。		



年 表

年 代	事 項	年 代	事 項
1952年（昭和27年）	10月 妙寺町自治体警察を廃止する。	1964年（昭和39年）	6月 高田、背ノ山、笠田、佐野の簡易水道を統合し、笠田上水道となる。
	1月 妙寺母子寮を開設する。		6月 町堂塵芥焼却炉が大谷に完成する。
	10月 大谷駅、西笠田駅が開業する。	7月 かつらぎ公園町民プールが完成する。	
	11月 各町村に教育委員会が設置される。	1965年（昭和40年）	3月 妙寺小学校丁ノ町分校が統合のため廃止される。
12月 中飯降簡易水道工事が完成する。災害公営住宅3戸を新田に初めて建設する。	4月 上水道第一次拡張工事が完成し、中飯降簡易水道、笠田上水道をあわせ、かつらぎ町上水道として発足する。		
1953年（昭和28年）	1月 大谷小学校の改築工事が完成する。	4月 自治区制が出そろふ。	
	3月 妙寺町防犯自治会が結成される。	8月 和歌山県立農業センター（現、農業大学校）が中飯降に設置される。	
	4月 伊都郡町村組合立国城寮が学文路村に開設される。	1967年（昭和42年）	3月 かつらぎ公園が完成する。
	4月 大谷幼稚園が完成する。		3月 県立紀の川高等学校が新田に設置される。
1954年（昭和29年）	9月 台風13号により災害が発生する。	4月 妙寺小学校の新校舎が完成する。	
	4月 妙寺町公民館を開設する。	10月 3代目町長に中谷政夫氏が当選する。	
1955年（昭和30年）	10月 町村合併推進協議会が設置される。	11月 住民基本台帳法が施行される（戸籍公開の制限）。	
	11月 見好村国保直営診療所を開設する。	1968年（昭和43年）	1月 和泉葛城山系、船岡山、宝来山神社、高野山町石道、玉川峡がかつらぎ高野山系県立自然公園に指定される。
	2月 志賀小学校にへき地集会所を設置する。		4月 県立紀の川高等学校に通信制課程が設置される。
	3月 見好村、天野村が合併して（新）見好村が発足する。	10月 議員定数減少条例を公布する（定数26人）。	
4月 四郷保育所を開設する。	1969年（昭和44年）	7月 同和对策事業特別措置法が施行される。	
8月 三谷橋が完成する。		7月 同和对策事業特別措置法が施行される。	
1956年（昭和31年）	9月 背ノ山簡易水道工事が完成する。	1970年（昭和45年）	3月 笠田小学校の新校舎が完成する。
	妙寺の紀の川畔に町営住宅を建設し、新町団地と命名する。		6月 かつらぎ町基本構想を策定する。
1957年（昭和32年）	7月 渋田小学校の講堂が落成する。	7月 平和祈念像が完成する。	
	12月 中飯降駅が開業する。	1971年（昭和46年）	3月 四郷小学校東谷分校が統合のため廃止される。
3月 渋田幼稚園を設置する。	6月 母子保健センターが完成する。		
1958年（昭和33年）	新市町村建設促進法に基づき、和歌山県知事が、伊都町、妙寺町、見好村に対して三か町村合併を勧告する。	7月 かつらぎ町水道事業所が発足する。	
	6月 丁ノ町分校に幼年プールを建設する。妙寺に町営住宅20戸を建設する。笠田東に町営住宅20戸を建設する。	10月 第26回黒潮国体の軟式庭球競技が本町で行われる。	
	7月 伊都町、見好村及び妙寺町が合併し、かつらぎ町が発足する。	1972年（昭和47年）	1月 四郷保育所が完成する。
	かつらぎ町長及び町議会議員選挙を執行し、初代町長に戸西倍一氏が当選する。		3月 中飯降保育所が完成する。
8月 かつらぎ町社会福祉協議会が結成される。	3月 大門口大橋が完成する。		
1959年（昭和34年）	12月 2代目町長に沢井政造氏が当選する。	4月 四郷小学校の新校舎が完成する。	
	1960年（昭和35年）	1月 三谷幼稚園が完成する。	4月 三谷公民館が完成する。
3月 かつらぎ橋が完成する。		老人憩の家が萩原に完成する。	
4月 妙寺幼稚園、丁ノ町幼稚園が完成する。	町同和方針作成審議会を設置する。		
5月 かつらぎ町役場新庁舎が丁ノ町に完成する。	町同和委員会を設置する。		
1961年（昭和36年）	4月 笠田、見好、四郷、天野中学校を統合し、笠田中学校が発足する。	6月 清掃工場が大畑に完成する。	
	1962年（昭和37年）	4月 集合税方式の納税が始まる。	1973年（昭和48年）
町議会新議場が完成する。			
2月 四郷保育所が完成する。			
4月 四郷公民館が完成する。			
4月 広口簡易水道が給水を開始する。			
4月 かつらぎ町社会福祉協議会が社会福祉法人となる。			



年表

年 代	事 項	年 代	事 項
1975年 (昭和50年)	12月 同和対策事業5か年計画が策定される。	1988年 (昭和63年)	6月 大阪府和泉市と友好都市提携をする。
	5月 佐野住民会館が完成する。		7月 かつらぎ町発足30周年記念式典が 挙行される。
	6月 町同和方針作成審議会から、同和 方針が答申される。	1989年 (平成元年)	4月 『かつらぎ町史』近世史料編を刊 行する。
中部保育所が完成する。	4月 町立妙寺保育所の管理、運営を民間に委託する。		
1976年 (昭和51年)	10月 4代目町長に木村重雄氏が当選する。	1990年 (平成2年)	10月 伊都農業共済組合が発足する。
	12月 同和啓発推進本部を設置し、同和啓発推進協議会が町内全域に設置される。		4月 地籍調査事業に着手する。
1977年 (昭和52年)	1月 2歳~67歳の住民(身障手帳1~2級等)を対象に重身医療費 [◎] 無料制度が発足する。	1990年 (平成2年)	4月 デイ・サービス事業を開始する。
	4月 中飯降住民会館が完成する。		4月 第1回産業まつりが開催される。
1978年 (昭和53年)	5月 笠田東町民会館が完成する。	1991年 (平成3年)	6月 第2次かつらぎ町長期総合計画基本計画を策定する。
	5月 平沼田中央会館が完成する。		8月 議員定数減少条例を公布する(定数20人)。
1979年 (昭和54年)	5月 妙寺公民館が完成する。	1991年 (平成3年)	8月 名誉町民・坊秀男氏が逝去される。
	6月 不燃物中間処理場が完成する。		3月 大谷小学校の新校舎が完成する。
1980年 (昭和55年)	6月 議員定数減少条例を公布する(定数22人)。	1992年 (平成4年)	12月 地方自治法の改正で地縁団体の法人化が認められ、第1号として東 洪田の中村町内会が認可される。
	11月 かつらぎ町発足20周年記念式典が 挙行される。		5月 移動図書館「ふれあい号」が町内を巡回する。
1980年 (昭和55年)	12月 桃の木団地が東洪田に完成する。	1992年 (平成4年)	12月 タイムカプセルを庁舎前庭に埋設する。
	3月 見好公民館が完成する。		1993年 (平成5年)
1981年 (昭和56年)	4月 勤労者体育センターが完成する。	1993年 (平成5年)	
	5月 丁ノ町会館が完成する。		4月 県道泉大津粉河線、那賀高野線が 国道480号に昇格し、国道370号も 延伸される。
1982年 (昭和57年)	5月 中飯降保育所が完成する。	1994年 (平成6年)	6月 かつらぎ公園河川グラウンドが完成する。
	10月 伊都消防組合が発足する(かつらぎ町・高野口町・九度山町)。		9月 かつらぎ総合文化会館(あじさいホール)が完成する。
1982年 (昭和57年)	5月 渋田簡易水道が給水を開始する。	1994年 (平成6年)	4月 地域福祉センターが完成する。
	8月 坊秀男氏にかつらぎ町名誉町民の称号を贈る。		10月 天野小学校の新校舎が完成する。
1983年 (昭和58年)	5月 天野保育所が完成する。	1995年 (平成7年)	10月 中国菜西市と友好都市提携をする。
	8月 妙寺中学校の新校舎が完成する。		1月 阪神淡路大震災が発生する。
1983年 (昭和58年)	1月 大谷会館が完成する。	1995年 (平成7年)	3月 『かつらぎ町史』近代史料編を刊行する。
	河南公園グラウンドが完成する。		10月 『かつらぎ町史』近代史料編を刊行する。
1983年 (昭和58年)	中飯降児童館が完成する。	1996年 (平成8年)	10月 6代目町長に南衛氏が当選する。
	4月 地域改善対策特別措置法が施行される。		11月 道の駅「紀の川万葉の里」が完成する。
1983年 (昭和58年)	5月 水道事業所新庁舎が佐野に完成する。	1996年 (平成8年)	1月 シイタケ菌床培養センターが完成する。
	淹郷土文化保存伝習施設が完成する。		10月 和泉葛城山系が金剛生駒紀泉国定公園に編入される。
1983年 (昭和58年)	6月 上水道第3次拡張工事が完成する。	1996年 (平成8年)	11月 第7回全国ひらかな市町村サミットが本町で開催される。
	12月 かつらぎ霊園・斎場が完成する。		1997年 (平成9年)
1983年 (昭和58年)	3月 大谷公民館が完成する。	1997年 (平成9年)	
	6月 中飯降公園グラウンドが完成する。		都市と農村の交流施設「柿の茶屋」が完成する。
1984年 (昭和59年)	9月 『かつらぎ町史』古代・中世史料編を刊行する。	1998年 (平成10年)	2月 庁舎本館改修工事が完成する。
	10月 5代目町長に溝端康雄氏が当選する。		3月 川上酒かつらぎ文化伝承館が完成
1984年 (昭和59年)	5月 志賀小学校の新校舎が完成する。		
1986年 (昭和61年)	6月 第2次かつらぎ町長期総合計画基本構想を策定する。		
1987年 (昭和62年)	4月 県立紀北農芸高等学校が妙寺に設置される。		
	8月 町の花「あじさい」、町の木「きんもくせい」を選定する。		



年表

年 代	事 項	年 代	事 項	
1999年（平成11年）	する。 第1回あじさい文化芸能祭が開催される。	2005年（平成17年）	2月 かつらぎ町・花園村合併協定調印式が実施される。	
	4月 紀の川流域下水道伊都浄化センターの建設が始まる。	3月 第3次かつらぎ町長期総合計画基本計画を策定する。	10月 かつらぎ町・花園村が合併し（新）かつらぎ町が発足する。	
	7月 不燃性ゴミの分別収集が始まる。	2006年（平成18年）	4月 国道480号平道路が開通する。町内の全小中学校で2学期制が導入される。	
	8月 新規作物地域ブランド定着施設が完成する。		6月 議員の定数を定める条例を公布する（定数16人）。	
	9月 台風7号により災害が発生する。	8月 『かつらぎ町史』通史編を刊行し、全4冊が完結する。	2007年（平成19年）	3月 志賀高野山トンネルが開通する。
	10月 かつらぎ町発足40周年記念式典・かつらぎ町公共施設合同竣工式典が挙行される。	6月 かつらぎ公園町民プールがリニューアルオープンする。		11月 かつらぎ町自主防災組織連絡協議会が設立される。
	2000年（平成12年）	3月 四邑小学校の新校舎が完成する。志賀ふれあい会館が完成する。	2008年（平成20年）	11月 かつらぎ町発足50周年記念式典が挙行される。
		6月 第1回ホテルまつりが開催される。		12月 県道和歌山橋本線（兄井～山崎区間）が開通する。
	2001年（平成13年）	11月 第22回西日本オリエンテーリング大会inかつらぎが開催される。	2009年（平成21年）	8月 橋本周辺広域ごみ処理場が稼働する。
		4月 道の駅に食材供給施設・いこいの広場が完成する。		2010年（平成22年）
	2002年（平成14年）	保健福祉センターが完成する。	4月 スクールバスの運行が開始される。	
2月 見好東部地区営農飲雑用水施設が完成する。		6月 議員の定数を定める条例を公布する（定数14人）。		
3月 上平沼田簡易水道施設が完成する。		9月 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院の新病棟が完成する。		
4月 かつらぎ町シルバー人材センターが設立される。		2011年（平成23年）	6月 渋田小学校の新校舎が完成する。	
紀の川流域下水道伊都浄化センターの一部供用が開始される。			9月 台風12号により災害が発生する。笠田小学校の新校舎が完成する。	
8月 御所地区営農飲雑用水施設が完成する。		2012年（平成24年）	10月 8代目町長に井本泰造氏が当選する。	
12月 天野トンネルが開通する。			3月 四郷、四邑、志賀、新城小学校が統合のため廃校となる。	
2003年（平成15年）		4月 学校週5日制が導入される	4月 民設民営の学校給食が始まる（笠田、渋田小学校）。	
		笠田ふるさと交流館が完成する。コミュニティバスの運行が始まる。かつらぎ斎場の休憩棟が完成し、通夜、告別式に使用できるようになる。	京奈和自動車道（高野口IC～紀北かつらぎIC）が開通する。	
2004年（平成16年）		9月 議員の定数を定める条例を公布する（定数18人）。	7月 妙寺小学校の新校舎が完成する。	
		12月 丹生都比売神社境内が国の史跡に指定される。	2013年（平成25年）	3月 三谷、天野小学校が統合のため廃校となる。
3月 三谷小学校の新校舎が完成する。天野地区営農飲雑用水施設が完成する。				
2004年（平成16年）	7月 かつらぎ町発足45周年記念式典が挙行される。			
	第3次かつらぎ町長期総合計画基本構想を策定する。			
	10月 7代目町長に山本恵章氏が当選する。			
2004年（平成16年）	6月 かつらぎ町・花園村合併協議会が発足する。			
	7月 「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録される。かつらぎ町では、丹生都比売神社と高野山町石道が登録となる。			



年表(旧花園村)

年 代	事 項	年 代	事 項
1889年(明治22年)	4月 町村制の施行により花園村が誕生する。	5月	過疎高齢者生活福祉センター(保健福祉館)が完成する。
1953年(昭和28年)	7月 紀州大水害で役場が流失する。行政資料流失により、以前の記録不明。	12月	第二期花園村長期総合計画を策定する。
1957年(昭和32年)	9月 花園中学校新子分校を花園中学校に統合する。	1992年(平成4年)	3月 林道サガシ谷線が開通する。公営住宅清滝団地(9戸)が完成する。
1959年(昭和34年)	1月 梁瀬大橋が完成する。	4月	花園村紀の国新王子が完成する。
1962年(昭和37年)	6月 梁瀬小学校が建て替えられる。	7月	小原洞窟恐竜ランドが完成する。
	10月 敷地地区簡易水道が完成する。	8月	ゴミ焼却施設を新設する。
1963年(昭和38年)	3月 中南林道が開通し、村内縦貫道路網が実現する。	1993年(平成5年)	3月 第一期老人保健福祉計画を策定する。梁瀬小学校プールを新設する。公営住宅花園団地(4戸)が完成する。
1964年(昭和39年)	4月 花園小学校を梁瀬小学校に統合する。村民総合運動場を開設する。花園村立花園幼稚園を開園する。	4月	県道有田高野線が国道480号に昇格する。
1968年(昭和43年)	3月 梁瀬児童館が完成する。	7月	昭和28年紀州大水害40周年記念碑を建立する。
1970年(昭和45年)	3月 生活改善センターが完成する。	10月	天然ダム水位標を設置する。
1971年(昭和46年)	3月 村道花園長谷線が開通する。	1994年(平成6年)	3月 ビデオ水害史「よみがえった郷土」を作成する。
1972年(昭和47年)	3月 林構林道三路線が開通する。	1995年(平成7年)	3月 軽企業誘致施設が完成する。北寺キャンプ場が完成する。広葉樹林造成が完成する。
	5月 水泳プール二面(梁瀬小学校・有畝小学校)を新設する。	7月	恐竜館が完成する。
1973年(昭和48年)	7月 新子ふるさと村を開設する。	1996年(平成8年)	3月 資源活用型林業構造改善事業(平成5~7年度)が完了する。公営住宅北寺団地(12戸)が完成する。
1974年(昭和49年)	5月 複合集会施設ふるさとセンター「ねむの木」が完成する。	1997年(平成9年)	3月 花園村保健センターが完成する。4月 林道湯川有中線が開通する。12月 南垣内集会所を新築する。
1975年(昭和50年)	3月 花園幼稚園を新築する。4月 県道橋本高野龍神線が国道371号に昇格する。	1998年(平成10年)	3月 公営住宅臼谷団地(4戸)が完成する。5月 北寺集会所を新築する。
1976年(昭和51年)	5月 老人憩いの家「紫翠荘」が完成する。11月 村道花園長谷線の舗装が完成する。	2000年(平成12年)	3月 山村振興等農林漁業特別対策事業(平成8~11年度)が完了する(広場緑地等利用施設・給水施設・駐車場・交流促進センター)。4月 村道花園長谷線が県道花園美里線(115号線)に昇格する。林道臼谷有中線が開通する。12月 池之窪集会所が完成する。
1977年(昭和52年)	3月 花園守口ふるさと村を開設する。	2001年(平成13年)	3月 奥高野道しるべが完成する。林業地域総合整備事業(平成8~12年度)が完了する(臼谷有中線開通)。12月 中南消防屯所が完成する。
1979年(昭和54年)	3月 公営住宅花園団地(9戸)が完成する。	2002年(平成14年)	3月 中南森林公園が完成する。12月 新子消防屯所が完成する。
1980年(昭和55年)	3月 県道有田高野線北寺隧道が開通する。4月 特定分収契約設定促進特別事業を実施する。7月 高野龍神スカイラインが開通する。	2003年(平成15年)	3月 地域林業経営集約化型林業構造改善事業(平成12~14年度)が完了する。地域文化振興施設(図書館)を新築する。12月 中越集会所を新築する。臼谷集会所を新築する。
1981年(昭和56年)	4月 花園中学校有畝分校を花園中学校に統合する。5月 大阪府守口市と姉妹提携を締結する。農林漁業者保養センターが完成する。6月 第一期花園村長期総合計画を策定する。	2004年(平成16年)	12月 峯手中越飲料水供給施設を整備する。南垣内飲料水供給施設を整備する。
1982年(昭和57年)	4月 高野龍神スカイライン花園村生産物直売所が完成する。6月 水害史『よみがえった郷土』を刊行する。	2005年(平成17年)	3月 県道115号線花園美里トンネルが開通する。4月 コミュニティバスの運行が始まる。9月 『花園村のあゆみ』を刊行する。閉村式を行う。10月 かつらぎ町と合併する。
1984年(昭和59年)	4月 林道瀬の谷線が完成する。11月 郷土古典芸能仏の舞を奉納する(61年目)。		
1985年(昭和60年)	4月 林道高野谷線・沼谷線が開通する。		
1987年(昭和62年)	7月 金剛寺緑地広場が完成する。		
1988年(昭和63年)	4月 花園中学校を新築する。12月 大壁画「山に描く花園の夢」が完成する。		
1989年(平成元年)	4月 村制施行100周年を迎える。7月 野営場等林間休養施設を開設する。		
1990年(平成2年)	4月 お迎えの庭が完成する。5月 ふれあいゲートボール場が完成する。7月 水害記念館が完成する。金剛寺緑地広場たる村が完成する。11月 花園村社会福祉協議会が社会福祉法人となる。		
1991年(平成3年)	3月 有畝小学校が廃校となる。		



町内の主な官公署等の一覧

名称	所在	電話番号
かつらぎ町役場	丁ノ町	22-0300
かつらぎ町役場花園支所	花園梁瀬	0737-26-0321
かつらぎ総合文化会館 (あじさいホール)	丁ノ町	22-0303
上下水道課	佐野	22-6566
笠田ふるさと交流館(笠田公民館)	笠田東	22-1004
妙寺公民館	妙寺	22-6668
三谷公民館	三谷	22-2184
大谷公民館	大谷	22-1644
見好公民館	東洪田	22-6917
四邑公民館	御所	22-5454
天野公民館	志賀	〈有線のみ〉 64119
四郷公民館	滝	25-0002
佐野住民会館	佐野	22-4566
笠田東町民会館	笠田東	22-4764
平沼田中央会館	東洪田	22-6272
中飯降住民会館	中飯降	22-6074
丁ノ町会館	丁ノ町	22-6944
大谷会館	大谷	22-1008
高田児童館	高田	22-1864
四郷児童館	滝	25-0002
大谷児童館	大谷	〈有線のみ〉 34120
丁ノ町児童館	丁ノ町	22-7831
中飯降児童館	中飯降	22-8015
西洪田児童館	西洪田	22-7538
山崎児童館	山崎	〈有線のみ〉 53523
笠田西部児童館	窪	〈有線のみ〉 47213
平沼田児童館	平沼田	〈有線のみ〉 57014
名山児童館	東洪田	〈有線のみ〉 58114
かつらぎ斎場	妙寺	22-6208
不燃物中間処理場	笠田東	22-6221
かつらぎ体育センター	丁ノ町	22-6916
東洪田軽スポーツセンター	東洪田	〈有線のみ〉 58313
ゆうゆうコミュニティホーム	妙寺	22-8191
東谷ふるさとセンター	東谷	25-0032
背ノ山ふれあい会館	背ノ山	〈有線のみ〉 48111
移レストハウス	移	〈有線のみ〉 48322
窪ふるさと館	窪	〈有線のみ〉 47622
萩原コミュニティセンター	萩原	〈有線のみ〉 47517
新規作物地域ブランド定着施設	笠田中	〈有線のみ〉 46620
広野地区高齢者活動促進施設	短野	〈有線のみ〉 27117
道の駅紀の川万葉の里	窪	22-0055
天野診療所	下天野	〈有線のみ〉 66312
かつらぎ公園	丁ノ町	22-3203
自然休養村管理センター	下天野	〈有線のみ〉 72120
平和祈念館	丁ノ町	22-6545
地域福祉センター(社会福祉協議会)	丁ノ町	22-4311
高齢者生活福祉センター (社会福祉協議会花園支所)	花園梁瀬	0737-26-0344
防災センター	丁ノ町	22-7799
川上酒かつらぎ文化伝承館	丁ノ町	22-7840
かつらぎ町シルバー人材センター	丁ノ町	22-3514
志賀ふれあい会館	志賀	26-9010
柿の茶屋	西飯降	22-7024
花園生活改善センター	花園梁瀬	0737-26-0771
花園保健センター	花園梁瀬	0737-26-0344

名称	所在	電話番号
ふるさとセンター「ねむの木」	花園梁瀬	0737-26-0326
恐竜ランド	花園梁瀬	0737-26-0836
守口ふるさと村	花園梁瀬	0737-26-0022
新子ふるさと村	花園新子	0737-26-0833
伊都消防組合	妙寺	22-0119
和歌山北部農業共済組合伊都支所	丁ノ町	22-0611
笠田中学校	笠田東	22-1068
妙寺中学校	妙寺	22-0159
笠田小学校	笠田東	22-1020
大谷小学校	大谷	22-0132
妙寺小学校	西飯降	22-0031
洪田小学校	東洪田	22-2004
梁瀬小学校	花園梁瀬	0737-26-0304
笠田幼稚園	笠田東	22-3003
大谷幼稚園	大谷	22-4446
妙寺幼稚園	西飯降	22-3004
洪田幼稚園	東洪田	22-4448
花園幼稚園	花園梁瀬	0737-26-0359
(私立)聖心幼稚園	笠田東	22-1336
妙寺保育所	妙寺	22-0164
中飯降保育所	中飯降	22-6063
丁ノ町保育所	丁ノ町	22-5829
笠田保育所	笠田東	22-2429
中部保育所	大谷	22-5612
四郷保育所	滝	25-0127
洪田保育所	東洪田	22-6064
紀北青少年の家	中飯降	22-5530
(公財)和歌山県下水道公社伊都浄化センター	窪	22-2241
農業大学校	中飯降	22-2203
紀北農芸高等学校	妙寺	22-1500
笠田高等学校	笠田東	22-1029
紀の川高等学校	新田	22-0619
和医大附属紀北分院	妙寺	22-0066
かつらぎ警察署	妙寺	22-0110
妙寺簡易裁判所・ 和歌山家庭裁判所妙寺出張所	妙寺	22-0033
妙寺区検察庁	妙寺	22-0140
国土交通省近畿地方整備局	妙寺	22-0213
和歌山河川国道事務所かつらぎ出張所	妙寺	22-0213
かつらぎ郵便局	丁ノ町	22-0651

かつらぎ町イメージキャラクター



- 発行年月／平成25年(2013)3月
- 発行／和歌山県伊都郡かつらぎ町
- 編集／かつらぎ町役場総務課
〒649-7192 和歌山県伊都郡かつらぎ町大字丁ノ町2160番地
TEL.0736-22-0300 FAX.0736-22-6432
<http://www.town.katsuragi.wakayama.jp/>
- 制作／かつらぎ町印刷組合(5社)